

ブリ釣り

海の安全推進アドバイザー 小野信昭

ブリは成長すると1メートルを超す大型魚で、その成長過程で呼び名が変わるいわゆる出世魚です。関東ではワカシ→イナダ→ワラサ→ブリ、関西ではツバス→ハマチ→メジロ→ブリで、その他の地域でも地方名が存在するほど日本全国に分布している魚です。



強烈な引きが楽しめるブリ



定番料理のブリ大根

夏には各地の沿岸部を回遊するイワシ等を追ってブリも接岸し、身近な海を回遊します。

この時期のブリの探し方は、海面付近のナブラを探すこととなります。ナブラは大型魚に追われて逃げまどう小魚の群れが、まるで海面がボイル(沸騰)しているように見える現象です。ナブラを発見したら、ボートを静かに動かし、ルアーがナブラに届く位置まで近づき、キャストイング。ナブラ付近に着水したルアーにあたかも小魚が逃げまどっているような動きを与え、ブリに食べさせます。

この水面(トップウォーター)付近のブリをルアーで狙う釣法は昨今、“ブリトップ”と呼ばれ、大型魚のブリを手軽に狙えるということで急速に人気が高まっています。遊漁船、プレジャーボート、ミニボートなど様々な乗り物から狙うことができますが、釣り場が岸から近いということもあり、昨今はシーカヤックやSUP(スタンドアップパドルボード)からも狙う人が増えてきました。

ナブラを発見したら、どのボートも“我先に”とナブラに近づこうとするので様々な危険が発生し、トラブルに発展するケースも出てきています。例えば、同じナブラを目指してボートを進めた結果、衝突しそうになったとか、大きな引き波を立てたことで近くに浮かんでいたシーカヤックやSUPが転覆しそうになったとか。

多くのボートが一斉に同じナブラを目指して突進すると、危険だけでなく、その轟音でナブラが消滅するケースがほとんどです。

譲り合いの心を持ち、少なくとも、先にナブラを目指して向かっている他船を見つけたら、自分は諦める・・・というような心のゆとりとマナーを持ち合わせて楽しみたいものです。



トップウォーターでのブリ狙い